

事業者等向け

放課後等デイサービス評価表

児童デイサービスすきっぷ神楽 提出6名

2021年2月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
環境・ 体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・定員10名に対し、基準沿ったスペースが確保されている。	定員10名に対し十分なスペースが確保されている。整理整頓をし安心して過ごせるスペースを継続し維持していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	100%			・基準を満たしている。	配置基準が満たされている。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	16%		84%	・現状の利用児には必要性を感じない。 ・必要に応じて協議する。 ・バリアフリーは子どものスキル低下の恐れがある。	現状の利用児には、必要性を感じない。安易なバリアフリー化は、できる・やれる子どものスキルを低下させてしまう恐れもあるので、必要性を感じた場合はその都度協議を行っていく。
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%			・施設内研修やミーティング等で職員間での話し合いの場を設けている。全職員がより多くの意見を提案できるよう意識を改善していきたい。	毎日の朝会、昼会ミーティングを通してスタッフとの意見交換を実施し、事業所内研修を行なっている。全スタッフが必ず発言するようルールを設け進行している。今後もより精度を高めていく。
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			・評価表の結果を踏まえて意向を把握し、改善に繋げている。	保護者向け評価表の結果を踏まえ、全職員で業務改善を意識付けした上で話し合う機会を設けている。
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・玄関の掲示と保護者への配布、ホームページでの公表を行っている。	玄関の掲示とホームページでの公表を行っている。

⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	・第三者による外部評価は行っていない。	重要事項説明書にも記載しているが、第三者による外部評価は行っていない。法人の方針に従い対応していく。ただし、保護者に対してはアンケート調査を実施して意見をもらい、業務改善へ繋げている。
⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・事業所内研修や法人研修を行ない、資質向上に努めている。 ・毎月1回以上(定期的)研修を行っている。	今後も施設内研修を実施し人材育成に取り組んでいく。
⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・日々子どもの様子を検証し、保護者との面談を行なうことで課題やニーズを計画に反映している。	保護者のニーズや子どもの課題を考慮して作成している。またモニタリング会議にてスタッフ全体で子どもに対して、どのような支援が必要か模索し、提案していく。
⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			・統一されたものを使用している。	法人共通の物を使用している。
⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・全スタッフで意見を出し合っている。 ・ミーティングを行ない全体で話し合う機会を設けている。	ミーティングを行い、全体で話し合う機会を設けている。
⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・曜日固定をせず様々な活動に参加できるよう工夫している。 ・今後も新たな活動を取り入れる等内容を模索していく。	体育館使用日等一部固定の物もあるが、極力曜日固定を行わないことで、利用児が様々な活動に参加できるよう配慮している。今後も固定化しないよう活動内容を模索していく。
⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			・長期休暇には、時間をかけた制作活動を取り入れている。 ・コロナ禍で今年は中止が多くなったが今後も土曜日には行くことのできない場所への外出を行なう等充実させていく。	長期休暇には、時間をかけた制作活動を取り入れたり、土曜日には行くことのできない場所への外出を行う等工夫している。今後も取り入れていく。

切な支援の提供

⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・個別での設定活動は行なっていないが、個別での配慮は行なっている。	子どもに合わせ、集団活動の中での個別対応を適宜組み合わせ計画を作成している。
⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・ミーティングを毎日行っている。	朝会と昼会にて打ち合わせを行い、当日の支援内容や役割分担について確認を行っている。今後も継続して行っていく。
⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			・翌日の朝会で全スタッフと共有している。 ・気付いた点などがあればその日のうちに施設長へ報告している。 ・報告のタイミングが遅いことがある。	当日は送迎や業務終了時刻が異なる為、綿密な打ち合わせは厳しい場合が多いが、気付いた点等は、その日のうちに施設長に報告を行い、翌日の朝会にて取り上げ共有している。報連相が定着するよう、引き続き研修を重ねていく。
⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・業務日誌やケース記録を作成し日々記録している。 ・内容が個人のスキルの問題で足りていない点もある。	業務日誌やケース記録を作成し、記録を残している。また、いつでも目を通せるよう保管し支援の検証・改善につなげているが、内容が薄いことがある。支援の検証・改善につなげていけるよう、個人スキルを向上させ更に精度を上げていく。
⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・毎月会議(モニタリング)を行なっている。	子ども1人に対し、半年毎にスタッフ全員でモニタリングを行い、計画見直しの必要性を判断している。
⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%			・適宜組み合わせている。	適宜組み合わせて行ない、定期的にガイドラインの確認を行っている。
⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			・全スタッフで意見を出し合い、担当者が参加している。 ・担当者会議前には、必ず事前にモニタリングを行なっている。	担当者会議に参画する場合は必ず事前にミーティングを行い、その子どもの状況を確認した上で、児童発達管理責任者もしくは施設長が参画している。

関係機関や保護者との連携	⑳学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			・保護者様からの同意の上で行なっている。	送迎時に学校での様子を引き継ぎ、保護者の同意を頂けた場合には必要に応じて電話や面談等を通し共通理解ができるよう努めている。
	㉑医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	51%	16%	33%	・該当なし。	医療的ケアが必要な子どもを受け入れていないため該当しない。
	㉒就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			・必要に応じ行っていく。	保護者からの依頼や同意を頂けた場合は対応している。
	㉓学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			・必要に応じ行っていく。	該当者なし。今後必要に応じ対応していく。
	㉔児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			・必要に応じ行っていく。	必要に応じて連携を取り助言や研修を受けていく。
	㉕放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%			・今年はコロナの影響で、ちびっこ甲子園と札幌ドーム北の甲子園大会が中止となってしまったが、少年団との練習試合やスキー支援、外出支援等の機会を設けている。	ちびっこ甲子園、札幌ドーム北の甲子園大会出場はコロナの影響で開催が中止となってしまったが、スキー級別テスト、Tボールの練習試合や外出支援等において、活動の機会を設けている。今後も機会を設けていく。
	㉖(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	・必要性があれば検討していく。	要請や必要性を感じた場合は参加を検討していく。

	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・送迎時の引継ぎや面談、電話対応、連絡ノートでの個人的なやり取りの中でできる限りのことは行っている。	今後も情報交換を行い共通理解に努めていく。
	㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			・送迎時の引継ぎや面談、電話対応、連絡ノートでの個人的なやり取りの中でできる限りのことは行っている。	安易な対応やアドバイスはトラブルにつながる為、児発管や施設長が必要に応じ個別で行なっている。他法人で開催しているペアレントサポート学習会のパンフレット等を保護者へ配布させて頂いているが、今後は当法人での開催も目指していきたい。
保護者への説明責任等	㉒ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			・契約時に行っている。	契約時において利用にあたっての説明を行なっている。今後も必要に応じて、面談時や通信・書面などで分かりやすく発信していく。
	㉓ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・保護者様の気持ちの受け入れ先になれる様丁寧な対応に努めている。	保護者様からご相談を受けた際は、安易に言葉を返さない様、丁寧な対応を心掛けている。今後も、必要に応じて助言を行い、保護者に寄り添い、気持ちの受け入れ先になれる様努めていく。
	㉔ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			・紅白戦や練習試合を通し保護者様同士の交流の機会を設けている。	野球紅白戦や練習試合を公開していることで保護者同士のかかわりが生まれるよう配慮している。親子BBQ等のイベントはコロナの影響で全て中止になってしまった。今後も情勢を踏まえた上でイベントを開催し、保護者同士の交流が生まれるよう計画したい。
	㉕ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・今年度は該当案件がなかった。苦情が発生した場合は手順に基づいて迅速に対応する。	苦情処理委員会を設置している。苦情が発生した場合は「苦情解決処理体制及び手順」に基づき、敏速に対応していく。
	㉖ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			・毎月通信を発行している。野球の大会やスキー支援の号外は保護者の方に大変喜んで頂いている。	毎月15日に通信や活動予定表を発行し発信している。

	⑳ 個人情報に十分注意しているか	100%			・取り扱いには細心の注意を払っている。	「個人情報利用の目的」に従い、取り扱いには細心な注意をしている。不要なデータや使用済みの書類などは施設内でシュレッダーにかける等の処理を行うとともに、職員規定により施設外にデータを持ち出すことも禁じている。今後もより一層セキュリティー強化に努めていく。
	㉑ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			・伝え方等に配慮し、行っている。	子どもたちに対しては必要に応じ視覚提示を取り入れながら日々模索し意思の疎通に努めている。保護者に対しては面談の機会を設けたり、通信や連絡ノートにて、できるだけ施設での活動内容や子どもの様子など伝えられるよう配慮している。特に重要な詳細については、必要に応じて連絡ノートや自宅訪問・電話連絡等にて情報をお伝えしている。今後も今まで以上に関係構築に努めていく。
	㉒ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	84%		16%	・利用児のプライバシー保護の為にも難しい。	不特定の住民を招待するという点に関しては利用児へのプライバシーの配慮という点で難しく、セキュリティー上の問題から好ましくないと考えている。作品展を開催し地域住民の方へ公開する場を設けたり、町内のゴミ拾いなどの地域貢献活動を行なっている。
非常時等の対応	㉓ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			・職員研修を行なっている。	職員へは研修を行なっており、保護者へは毎年4月に緊急時対応マニュアルを配布している。今後も変更等が出た場合などは迅速に情報公開していく。
	㉔ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			・定期的に行なっている。 ・訓練前には職員研修を行ない災害時の動きを確認している。	年に3回行なっている。(火災2月・地震6月・水害10月)また、3月に不審者への対応訓練も実施している。
	㉕ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			・定期的に研修を開催している。	法人として2・5・8・11月に虐待防止委員会を開催しており、内容を事業所内にも周知している。また、同月に虐待防止研修を行なっている。今後も継続し虐待防止に努めていく。
	㉖ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			・2・5・8・11月に身体拘束廃止会議を開催している。	契約時や必要に応じて面談時等に説明している。また、個別支援計画特記事項にも記載している。法人として2・5・8・11月に身体拘束廃止委員会を開催しており、内容を事業所内にも周知している。

④②食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシートにて保護者へ聞き取りを行なっている。 	<p>契約時にアレルギーの有無を確認すると共に、アレルギー反応が出やすい食材を扱う場合には当日利用する全利用者に確認をとるなどして対応している。</p>
④③ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・専用ファイルを作成している。また読み合わせを行い再発防止に努めている。 ・積極的な提出がみられない。 	<p>職員が自発的に提出しやすいよう環境を整備していく。今後も共有し、同じ失敗を繰り返さないよう努めていく。</p>